



令和元年 10 月 1 日

企業との大型共同研究を連続的に組成し、
集中的なマネジメントを行う組織
「広島大学 オープンイノベーション事業本部」
を設置いたしました

本学は、企業の事業戦略に深く関わる大型共同研究への集中的なマネジメントを通して、大型共同研究の推進を図るとともに、本学における財政基盤の強化、大学改革の推進及び研究力の強化等に資することを目的とし、学長直轄となる組織「オープンイノベーション事業本部」（略称：OI 事業本部）を 10 月 1 日に設置いたしました。

1. 設置目的

本学が、世界トップレベルの教育・研究水準を確立し、西日本唯一の地方におけるイノベーション拠点として確立するために、国内外に幅広いネットワークを構築し、大型の共同研究を企画・提案・獲得し、潤沢な資金循環を確保していく仕組み・組織を整備し、大規模な民間資金獲得を目指します。

2. 経緯

現在、我が国の大学を取り巻く状況は、産業構造が資本集約型から知識集約型に大きく転換しようとする中で、第5期科学技術基本計画にあるとおり、国際社会のダイナミズムを取り込みつつ、グローバルでオープンなイノベーションシステムを形成していくことが重要であるとの考え方を示されております。

こうした中で、オープンイノベーションを本格化させようという動きが、産業界では活発になりつつあり、優れた知識・技術、人材が集積する我が国の大学に対し、共同して先進的な知識集約型産業を生み出すプラットフォームとなることを産業界から要請されているところであります。これまでの研究者個人レベルでの連携から、組織レベルでの連携、つまり、「組織」対「組織」による本格的な産学官連携が求められております。

今後、本学が、世界トップレベルの教育・研究水準を確立し、西日本唯一の地方におけるイノベーション拠点として確立するためには、国内外をターゲットとした大型共同研究を連続的に組成する体制整備が不可欠であります。

また、本学では、COIプログラム（感性イノベーション拠点：2013年度～）、OPERA（ゲノム編集研究拠点：2016年度～）、卓越大学院（ゲノム編集先端人材育成：2018年度～）等、高い水準の研究拠点を運営しており、今後、企業との「組織」対「組織」の共同研究となるシーズを蓄積しております。

本OI事業本部では、本学の強みとなるこうしたシーズを活用し、大型の共同研究を獲得していくため、国際的なビジネスや産学連携の経験を有する優れた人材等を、本学の外部から招へいするとともに、学長直轄の組織として本部長に社会産学連携担当の理事を配置することにより、大型の共同研究を企画・

提案し、集中的にマネジメントできる体制を整備したものです。

3. 運営組織・体制（図1・2）

学長直轄の組織として本部長に社会産学連携担当の理事を配置することにより、既存の産学連携担当部署とも密接に連携を行い、企業との（クローズドな）競争領域を中心とした大型共同研究の組成・マネジメントを行います。

本〇I事業本部の体制においては、統括クリエイティブ・マネージャーを中心とし、マネジメントチームとして各担当を配置すると共に、外部専門家の知見も活用しながら、企業ニーズ及び国際・地域ニーズを把握し、社会課題解決からイノベーション創出することも目指します。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

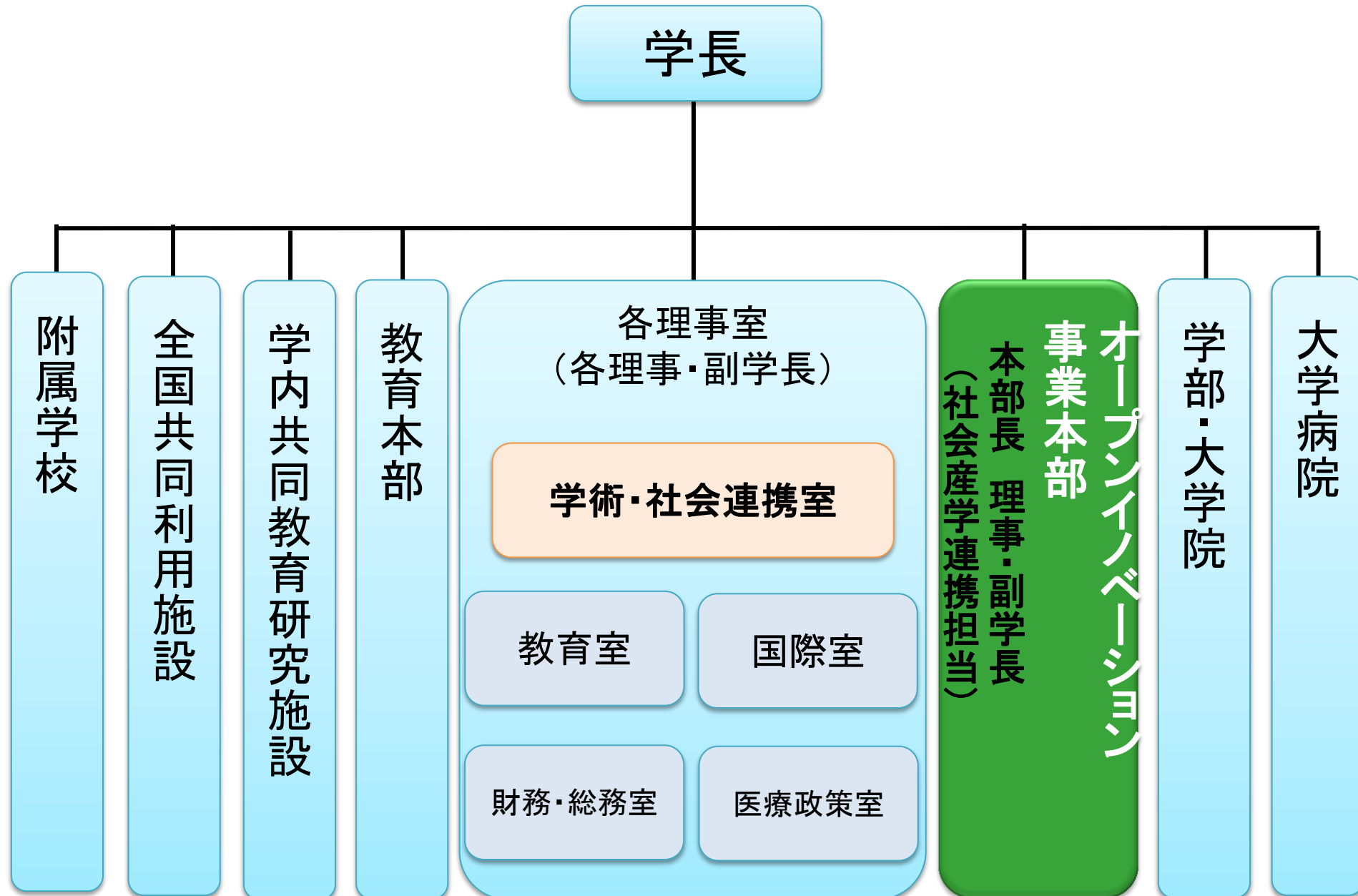
学術・社会連携部長 原 準一

TEL：082-424-7112

発信枚数：A4版4枚（本票含む）

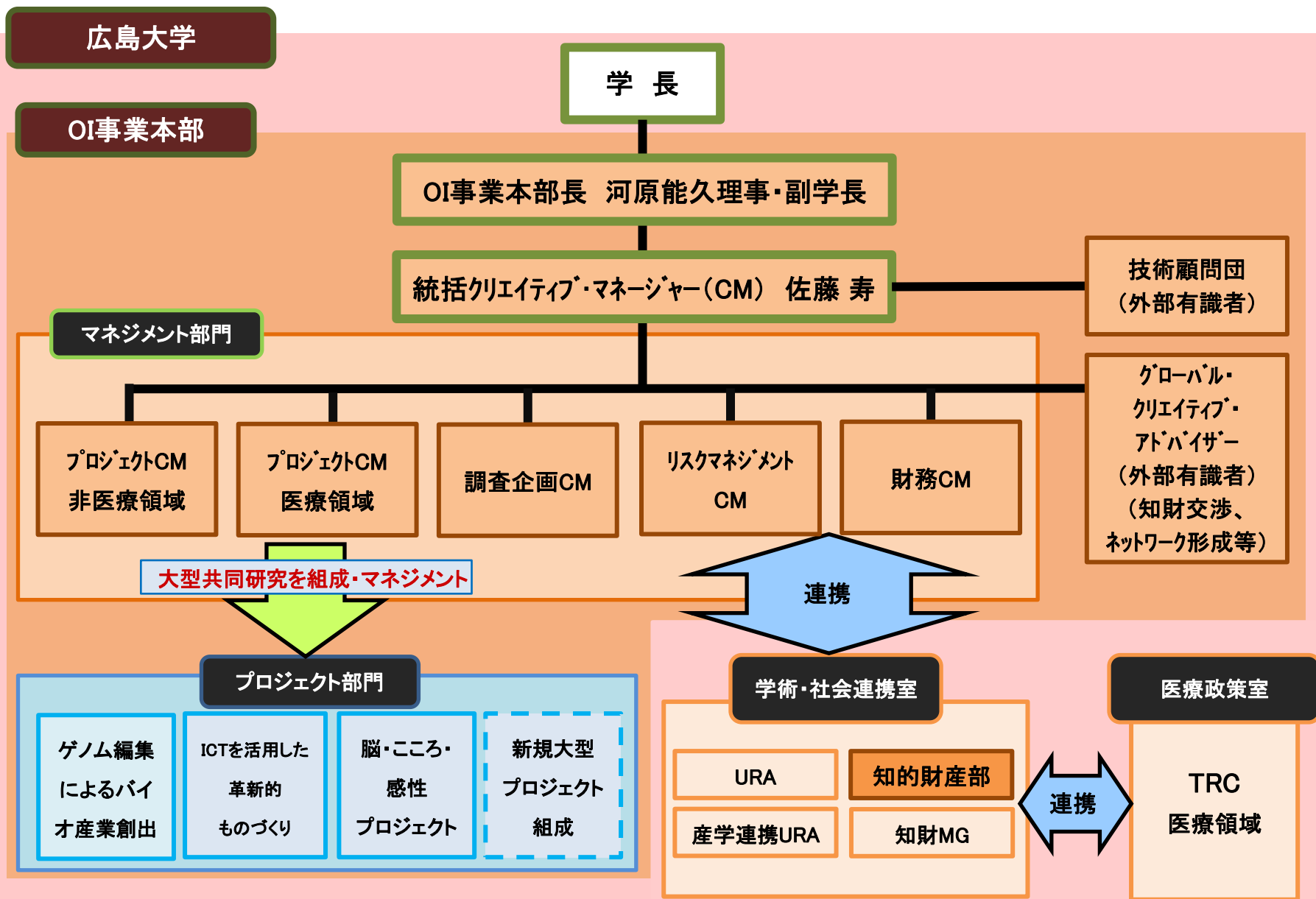
オープンイノベーション事業本部(OI事業本部)組織図について

図1



オープンイノベーション事業本部(OI事業本部)体制図について

図2



(注)

知財MG = 知的財産マネージャー

TRC = トランスレーショナル・リサーチ・センター